

44 大阪市立美術館 文化観光拠点計画2022-2026

計画作成・実施体制

文化観光拠点施設(設置者) :

大阪市立美術館(地方独立行政法人大阪市博物館機構)

文化観光推進事業者 :

公益財団法人大阪産業局、公益財団法人大阪観光局
株式会社博報堂 など

計画期間

R4(2022)年度～R8(2026)年度 (5年間)

目標

- ・全来館者数 2017～2019年度平均(コロナ前) 73万人
→2026年度120万人(1.6倍)
- ・外国人来館者数 2022年度(コロナ前推計) 8,800人
→2025年度48千人(5.5倍)
※10年後(2032年度)には35千人(4倍)
- ・30代以下の来館者割合
2021年度26.6%→2026年度35.0%
- ・来館者の満足度(大変満足の割合)
2022年度30.0%→2026年度:45.0%

文化観光拠点施設機能強化事業

<1.文化資源の魅力の増進>

- ・作品のデジタル化と活用のためのデータベース構築
- ・ギャラリートークや体験メニュー等の開発

<2.文化についての理解促進>

- ・留学生支援コンソーシアムとの連携による多言語対応
- ・デジタルコンテンツの二次利用やバーチャル美術館への活用

<3.文化観光に関する利便の増進>

- ・チケットレス入場システムや慶沢園との共通券の導入

<4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>

- ・大阪産業局と連携し、収蔵品等をモチーフにしたグッズ開発

<5.国内外への宣伝>

- ・美術館ウェブサイトのリニューアル

<6.施設又は設備の整備>

- ・慶沢園の景観を取り込んだミュージアムカフェの整備

文化観光推進事業費(5年間の計画ベース)

455百万円(うち、文化観光推進事業補助金300百万円)

計画区域

天王寺・阿倍野～新世界エリア



中核文化観光拠点施設
(主要な文化資源)

主要な文化資源
(文化財等の種類)

飲食施設
販売施設

宿泊施設
その他施設